

医師に対する献体を用いた臨床解剖学教育および臨床解剖研究 の実施に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 解剖学 職名 教授
氏名 久保田義頭

実務責任者 所属 解剖学 職名 特任助教
氏名 高詰 佳史
連絡先電話番号 03-5379-1977

このたび当院では、上記の研究課題に基づき、解剖献体を用いた以下の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、ご遺族やご本人に代わる方に新たな負担が生じることはありません。またご献体のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれないご遺族やご本人に代わる方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2007 年 11 月 30 日より 2035 年 12 月 31 日までの間に、慶應義塾大学篤志会会員として、死後、医学の教育または研究に献体する旨を本人および親族が承諾している方のご遺体

2 研究課題名

承認番号 20070026

研究課題名 医師に対する献体を用いた臨床解剖学教育および臨床解剖研究の実施

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 解剖学教室・医学教育統轄センター・クリニカルアナトミーラボ（Clinical Anatomy Laboratory, CAL）

4 本研究の意義、目的、方法

本研究は、医師に対して高度で正確な手術手技教育および新たな医療技術開発の機会を提供することを目的としています。

ご献体の解剖は、解剖学教室の教授または准教授の指導・管理のもと、臨床医が教育および研究目的で行います。

実施内容は以下の通りです。

卒後医師を対象とした正常解剖および手術手技に即した解剖 (シミュレーション)

新規治療手技・医療機器・手術器具開発に関連した臨床解剖研究

教育・研究成果の学会発表、論文発表、教材化 (紙媒体・デジタル媒体を含む)

これらの研究は、医学部倫理委員会の承認および病院長の許可のもと、「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」および「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従い実施します。

5 協力をお願いする内容

ご遺体全身を解剖の対象とします。解剖体に対する観察方法や記録方法として、肉眼観察、内視鏡観察、顕微鏡観察、血管内に造影剤や着色剤の注入による観察、薬液に浸し透明標本の作製による観察、組織標本作製による観察、X 線学的撮影、マイクロ CT、CT、MR、エコー、模写 (スケッチ) などによる記録も用います。

ご献体を引き取る際の保存承諾書(体の一部を標本として保存する)に応じて、ご献体の一部を標本として保存する可能性があります。得られた解剖所見・画像・動画・3D データ等は、個人情報削除した匿名化データとして教育・研究目的に使用されます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2035 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う研究対象者の個人情報は、年齢、性別、死因の情報のみです。その他の個人情報 (氏名、住所、電話番号など) は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う研究対象者の解剖学的所見・手術所見は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 研究対象者の個人情報と、匿名化した解剖学的所見・手術所見を結びつける情報 (連結情報) は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人 (ご本人より本研究に関する委任を受けた方など) より、解剖学的所見の研究利用への停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記のご連絡先までご連絡ください。

慶應義塾大学医学部・解剖学教室 特任助教 高詰佳史

TEL: 03-5379-1977、FAX: 03-5379-1977、Email: kentail-group@keio.jp

以上